



「おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん」

# 南山幼稚園 1月の園だより

平成29年1月10日



あけましておめでとうございます



皆様におかれましては穏やかに新年を迎えられたことと思います  
旧年中は多大なるご支援・ご協力をいただきありがとうございました  
本年もよろしくお願ひいたします

南山幼稚園長 明田川 輝美

年末年始はいかがお過ごしでしたか。2学期の終わりに、年少りんご組園児が、自分たちの生活する部屋の床を「いち・に、いち・に」と、声を掛け合いながら一生懸命に雑巾がけしている姿を見て思わず微笑んでしまいました。

ご家庭では、年末の大掃除など、家族の一員としてお手伝いはできたでしょうか。家では掃除機やハンディモップなどの便利な道具が主流なため、園でのほうきで掃く、雑巾で床を拭くなどの経験は貴重なことかもしれません。これからも、楽しみながらいろいろな体験を通し生活していく力を身に付けさせていきたいと思ひます。



お正月遊びはできましたか。ゲーム機のように指先で押すだけの単純な遊び道具と異なり、コマ回し・羽根つき・カルタ・凧揚げ・双六・福笑い・けん玉などは、考へて、試して、工夫して、手先を使って、体を動かして、多くの感覚をフル回転させ、心身ともに良い影響を与えることができるのではないのでしょうか。ご家庭でもぜひお正月遊びをお楽しみいただくことをおすすめいたします。

2学期末から、年長さくら組が果敢に挑戦しているのがコマ回しです。コマに紐をぐるぐる巻く、投げる、引く、手から放すタイミングの難しさに毎日悪戦苦闘していました。紐も強すぎると最後まで巻き終わる前に崩れてしまい、弱すぎても隙間が空いて崩れてしまいます。ちょうど良い巻き方は、何回も何回も繰り返すことで、手が自然に覚えていきます。



やっと巻き終わったと思へても、投げた瞬間に、コマはゴロゴロと床にぶつかり倒れ、あっという間にやり直しになります。その悔しさにも負けず、何回も繰り返し挑戦している姿は本当にけなげで、何とかしてあげたいと心で祈るばかりでした。苦勞が大きい分、回った時の喜びの大きいことといったら・・・

道具の細かい扱い方を体得するうちに脳が活性化され、失敗を繰り返しながら成功にたどり着くまでには、各感覚器官の総合的な調整力が育ちます。悔しさを味わうことであきらめない心が育ちます。

2学期にコマを回すことができなかつた子も、きっと回すことができるようになることでしょう。できないことにチャレンジする力、友達とかかわる力をさらに伸ばしていけるよう支援していきたいと思ひています。

## 南山幼稚園・南山小学校との連携・交流活動

### 《 作品展 》 全園児・1年生がお客さん

小さな手でクレヨンをしっかり握って描いた年少りんご組さんの「お弁当」、自分たちが集めた空き箱で作った年中ばら組さんの「大好きな生き物」、園児の作品とは思えないほど観察力に優れた年長さくら組さんの「大根」など、子どもらしさに満ち溢れた素晴らしいものばかりでした。

キラキラランドでは1年生がお客さんとなり、さくら組さんが力いっぱい押している姿も頼もしかったです。小学生を楽しませることが、自分たちの喜びや自信につながったのではないのでしょうか。園児と1年生の笑い声が溶け合せて素敵な空間を醸し出していました。手作りの夢の世界に、大人も子どもも魔法にかかったように幸せな気分になりました。

これからも子どもたちの考える力・表現する力  
人とかかわる力を  
育てていける  
よう努めてい  
きたいと思ひ  
ます。



### 《 餅つき会 》 全園児・6年生が応援参加

力持ちのお父さん、きめ細やかなお母さんにお手伝いいただき恒例の餅つき会を行いました。一人一人が杵を振り上げて、「よいしょ！よいしょ！」と大きな掛け声に合わせて餅つきを頑張りました。

6年生も応援参加してくれました。みんなで心をこめてついたお餅は美味しかったですね。

朝早くからご協力くださった保護者の皆様ありがとうございました。



### 《 小学校展覧会鑑賞 》 さくら・ばら組

小学校の展覧会を鑑賞に行き、「自分たちもやってみよう」と小学校への憧れの気持ちも膨らみました。



## <今月は次のように保育します>

### ◎3歳児 りんご組

- 友達とかかわりながら、自分のやりたいことを試したり、繰り返したりして遊ぶことを楽しむ。
  - ・自分なりに場を作ったり好きな遊具を選んだりしながら、やりたいことを存分に楽しめるような援助をしていきます。
  - ・友達の近くで同じ遊びを楽しんだり、かかわろうとしたりする姿を受け止め、楽しんで遊べるようにしていきます。
- 学級の活動で、いろいろな表現遊びを楽しむ。
  - ・学級で一緒に過ごすことが心地よいと感じる温かい雰囲気の中で、教師と一緒に表現遊びを楽しめるようにします。
  - ・音楽や話を聞きながら、自分なりにいろいろな動きや言葉を表すことを経験できるようにします。
- 冬の生活に必要なことや身の回りのことを自分でやろうとする。
  - ・上着を自分で脱着し掛けること、下着をズボンに入れるなど、冬の生活に必要なことや、うがい手洗いを自分で行い身に付けていけるよう、声をかけたり援助したりしていきます。

### ◎4歳児 ばら組

- 友達に自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら遊ぶことを楽しむ。
  - ・好きな遊びの中でイメージや考えを出し合ったり、部分的に取り入れたりしながら遊びを楽しめるようにします。
  - ・正月遊びでは、友達とルールや遊び方の確認をしたり、教え合ったりしながら楽しめるようにしていきます。
- 学級で行う劇遊びで、話に沿って自分なりに表現したり、友達と一緒に動いたりすることを楽しむ。
  - ・親しんでいる絵本を題材に、ストーリーを楽しみながら劇遊びをしていきます。話の展開が分かり、役になって自分なりに表現していくことを楽しめるようにしていきます。
- 友達で行う当番活動や冬の生活に必要なことを思い出し、自分でやろうとする。
  - ・弁当時の準備やあいさつや、風邪を予防するために必要な衛生の習慣、衣服の調節や防寒具の始末など、自分から気が付き進んで行動できるように声をかけたり、援助したりしていきます。

### ◎5歳児 さくら組

- 友達と遊びを進める中で、自分のめあてに向かって力を出したり、互いに挑戦し合ったりする楽しさを味わう。
  - ・友達と一緒にコマや短縄、大縄、ドッジボールなどをして遊ぶ中で、友達同士で教え合い、自分のめあてに向けて力を出せるようにします。
  - ・互いに教え合う姿、競い合う姿を認め、それぞれのよさを改めて見付けられるようにしていきます。
- 物語やイメージに合った表現を考え、友達と共通理解しながら学級の劇を作り上げていく楽しさを味わう。
  - ・こども会に向けて学級の友達と考えを出し合いながら、物語のイメージを膨らませていきます。劇として作り上げるために、言葉や動き、小道具、音楽などについて、学級やグループの友達と考えを出し合っていきます。
  - ・共通の目的に向かって作り上げていく過程を楽しみ、学級のみんなで達成感を味わえるようにします。
- 生活の中で、活動の区切りの時間を意識し、進んで行動していこうとする。
  - ・小学校入学に向けて子供たちも期待が高まる時期です。その気持ちを大切にしながら、生活の流れを見通し、登園時間や片付けの時間、集まる時間を意識したり、次の活動に向けて行動したりできるようにしていきます。

## <南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて>

「最後までしっかり聞こう」